

【広報部】第2号「芸術鑑賞教室」

第2号は5月10日に開催された「芸術鑑賞教室」についてお知らせします。

今年度は「劇団風の子」による「ちえんじ 図書室のすきまから」を鑑賞しました。

ある日、本の好きな女の子が、図書室で本の中の世界に入り込みます。

そして、本の中の登場人物と出会い、自分を「ちえんじ」していく物語です。

子どもたちからは終始、歓声や笑い声と拍手が鳴り止まず、終演後には、もう一度観たいという感想が多く聞かれました。

◆広報部から「風の子」さんへ聞いてみました！

Q.今回は小学生向けの演目でしたが、脚本を作る際に何かメッセージはありましたか？

A.スクールカウンセラーや演劇のワークショップで子どもたちと触れ合う機会があり、子ども自身の気持ち、表現方法の悩みを解放するためのきっかけ作り、気持ちの後押しを演劇を通して伝えられればとの想いが込められています。

Q.子どもたちも学芸会などで自分が演じる機会が出るかと思います。みんなの前で役を演じる事、とても難しいと思います。役を演じる上で意識している事などがあれば教えてください！

A.緊張はもちろんしますが、前で見ているみんなから評価されているとは思わない。見ているみんなが仲間！後押ししてくれているんだ！と思って、役を演じています。

是非、お子さんからどんな話だったか感想を聞いてみてください！

また、[荒幡小学校ホームページ](#)にて芸術鑑賞教室の様子が掲載されています。ぜひご覧ください。

荒幡小学校 PTA 広報部